

# 「血球分析装置の検査値および目視判定された破碎赤血球比率の相関」に関する研究

## 1. 研究の対象

2020年6月～2021年9月30日の間に、当院において検査目的で血液を採取された患者様。検査が終了しており、通常診療の一環として提出された残余検体を用います。

## 2. 研究目的・方法

臨床検査データは疾患の診断、予防および治療効果の判定に活用されるためには、その信頼性が保証されていなければなりません。検査試薬や検査機器の変更を行う場合、実患者検体を用いた基礎的検討を実施し、検査値の信頼性を保証する必要があります。

現在、破碎赤血球比率の算出には、血液塗抹標本の顕鏡下での人手によるカウントを用いており、検査の依頼を受けてから標本の作製、標本の染色、顕微鏡下でのカウントという手順で行うため、報告までに1時間以上要しています。今回新規に導入した血球分析装置には、破碎赤血球の計測機能を有しており、この計測値と従来法での計測値の相関性を検証することが本研究の目的です。検査装置による結果報告が実現すれば技師の負担軽減のみならず、血球算定項目との同時報告が可能となることで患者診療に大きく貢献できると期待しています。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

血液測定装置で測定された破碎赤血球（FRC）値・血液塗抹標本

## 4. 研究期間

人を対象とする医学系研究倫理審査委員会承認日 2021年7月21日

～2025年3月31日まで

## 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

琉球大学病院 検査・輸血部

住所：沖縄県中頭郡西原町字上原207番地

TEL：098-895-3331（内線 4712）

担当者：渡嘉敷 良乃

研究責任者：

琉球大学病院 検査・輸血部 部長 前田 士郎